

平成25年12月25日

会津美里町長 渡部 英敏 様

会津美里町行政改革推進委員会

会長 小森 信



会津美里町行財政改革推進計画改訂について（答申）

平成25年11月12日付け25会美政第188号にて諮問のありましたこのことについて、当委員会は下記のとおり答申します。

記

- 1 会津美里町行財政改革推進計画改訂については、概ね適当と認める。
なお、当初スケジュールから遅延している取り組み項目が散見されることから、公共経営の理念のもとスピード感を持って、計画どおりに実施すること。
- 2 その他附帯意見
 - (1) 補助金の整理合理化については、早期に第三者機関を設置し、公平・公正を確保した上で、内容等について十分精査すること。
 - (2) 使用料・手数料の見直しについては、経済情勢や近隣町村の動向に注視し、適時に実施すること。
 - (3) 事務経費の削減については、更なる削減となるよう効率化に努めること。また、内部事務経費の削減だけに留まらず外部（町民・業者）への簡素化についても検討すること。
 - (4) 高田庁舎と複合文化施設の整備等については、将来を見据え規模、内容等について十分検討すること。
 - (5) 窓口事務の改善（町民の利便性向上）については、町民の利便性を考慮し、効果的な行政サービスが提供できるよう検討すること。
 - (6) 学校給食の効率的な運営については、早期に方針を決定するとともに、学校給食の質の低下を招くことの無いよう十分検討すること。
 - (7) 電子決裁システムについては、経費削減の1つの手法として有効と考えられることから、再度検討すると共に、併せて事務決裁のあり方についても検討すること。

- (8) ファイリングシステムの構築については、早期の導入を望む。また導入に併せて研修等による職員の意識向上を図ること。
- (9) 町のサービスや取り組みなどについて、多くの町民が利用しやすいような情報提供の方法について検討すること。
- (10) 高齢化など、社会情勢の変化に対応し、町民の近くでのサービス提供など行政運営のあり方について検討すること。
- (11) 町内の優秀な人材の登用を図るため、行政への町民参加手法について検討すること。